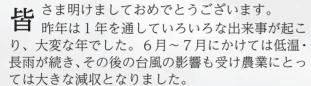
平成31年新年のごあいさつ



洞爺湖町議会議長 佐々木良一



また、漁業にとってもホタテ貝が原因不明の大 量へい死を招くなど大変な年になりました。洞爺 湖町を支える1次産業に、このような大きな被害 が及んだのは、ほかに例を見ないものであり、そ の対策を急がなければなりません。

9月6日の北海道胆振東部地震では、厚真・安平・ むかわの3町を中心に大きな被害に見舞われまし た。心よりお見舞いを申し上げます。また、洞爺 湖町においても観光業を中心に大きな影響を受け ました。

このように各方面で大きな災害を受けた年では ありましたが、近年では想定外の災害がいつ起こ るか分からない時代に入ったといえるかもしれま せん。そのような中で地震対応も大きな混乱もな く乗り切れたことは、町民の皆さんの日ごろの防 災に対する意識の高さと、訓練の成果が出たもの だと思っています。

今回の震災は厳寒期を外れ、また津波も伴わな いものではありましたが、これからも想定外の災 害に対する備えを皆さんと共に作り上げていかな ければと改めて思う所です。

さて、いよいよ平成も終わり、新しい元号へと 移ります。今年は今までの経験を生かした新しい まちづくりにまい進して行く年にしたいものです。 議会も4月に改選を迎えますが、今年から14人 の定員を12人に、2人減の体制で臨むことにな りました。今まで以上に町民の皆さまのお力添え を賜わります様お願い申し上げます。

皆さまにとって本年がより良い年であります様 お祈り申し上げますとともに、皆様のご健勝とご 多幸を心よりご祈念申し上げ年頭のごあいさつと させて頂きます。



洞爺湖町長 真屋敏春

明 けましておめでとうございます。 町民皆さまにとって清々しい新年をお迎えの こととお慶び申し上げます。また日頃行政へのご 支援、ご協力に対し、深く感謝申し上げます。

昨年は、皆さまの力強いご支援で、町長として 三期目の重責を担わさせていただくことになりま した。今期は、第2期洞爺湖町まちづくり総合計 画を基本に、虻田地区と温泉地区、洞爺地区の3 地域の特性に合った振興策の推進を掲げました。

重点事業として挙げた虻田地区の環境整備事業 は、路面のひび割れや側溝の破損などの道路改良 を進めているところであり、JR 洞爺駅構内エレ ベーターの整備に関しても、早期整備に向け関係 機関と調整をしています。一方、旧洞爺高校跡地 を活用した洞爺地域振興策も、新保育所の建設が 2月の完成、4月からの通所を予定していて、保 育所利用料の半額助成も行い、子育てしやすい環 境づくりの推進で定住対策も視野に入れていると ころです。

観光業にふれますと、昨年の洞爺湖温泉宿泊客 数は、北海道胆振東部地震などによる影響で一時 落ち込みましたが、関係各位のご努力もあり、そ の後順調に推移してきています。洞爺湖有珠山ジ オパークなどの資源を生かしながら、各産業団体 の連携を強化し、世界水準への対応を進めていく ことで、交流人口・関係人口などの増加、地域経 済の好循環によるにぎわい創出など、地域の創生 を推進していきたいと考えています。

2018年の世相を表す漢字に「災」が選ばれた ように、昨年も集中豪雨、地震と自然災害の多い 1年でした。有珠山を抱え、噴火湾に面している 当町において、災害への備えは、重要な取り組み です。想定外を想定し、行政と地域住民がタッグ を組み、安全、安心な町づくりにまい進していき たいと思います。

皆さまが、健やかで、明るい希望に満ちた1年 となりますようご祈念申し上げ、年頭のごあいさ つといたします。